

鳥取子ども学園 学園だより

第 29 号
2011年 6月 1日

○発行
鳥取市立川町 5 丁目 417 番地
鳥取子ども学園後援会
電話 (0857) 22-4206
<http://www.tottorikodomoakuen.or.jp/>
○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎徳之助

苦境の時こそ本質が問われる

鳥取子ども学園 乳児部 院長 田 中 佳代子

三月十一日の東北大震災を痛み、亡くなられた方々に心より追悼の意を表します。

この大震災によって、多くの方々が色々な想いを巡らせておられることと思います。ニュースで報道される数々の悲劇もさることながら、被災地で懸命に頑張っている方々、ボランティアとして救済に当たっている方々、いずれも心打たれる事ばかりです。

日本人、特に東北の方々のねばり強さと不屈の精神は、全国の人々に自己を見つめ直す多くの機会を与え、このままでいいのか、何かを始めなければと心揺さぶる波紋を起しました。学園も職員で義援金を集めたり、カップラーメンなどの現物を東北の施設に送りました。子どもたちも募金箱を設けようと発案し、子どもたちなりに出来ることは何かと考えています。痛みを知っている子どもたちだからこそ、人ごとは思えない優しさを醸し出すと感じます。無くなつて始めてわかる、当たり前前の生活のいかにありがたいことか。学園は、多くの人々に支えられて今日を迎えていることに

改めて感謝をします。

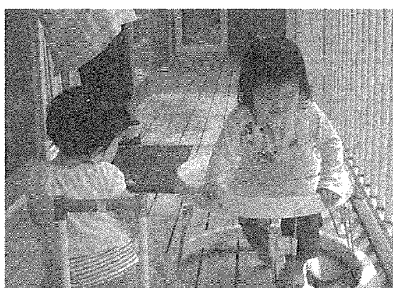
ここ数年学園は、常に定員一杯という状態が続き、乳児院から児童養護施設に移動が難しい状態が続いていました。『鳥取子ども学園』は今年度、名古屋に一軒家を買って地域小規模グループホームを開設し、定員を六名増やして五十一名の児童養護施設となりました。まさに地域と一体化した施設です。今年度は、『乳児部』から六名の子どもたちが『鳥取子ども学園』に移動し乳児院の受入にも余裕が出来ました。鳥取県退所児童等アフターケア事業『ひだまり』も一般社団法人として吉方温泉に三階建ての一軒家を購入し、今まで以上に施設出身者の救済・憩いの場としての役割を高めています。

また、今年度から『里親支援機関』も支援センター事業として受けました。学園は、ひとつひとつ現状を見直し、時代の流れも加味しながら支援体制を築いてきました。子どもたちのケアも絶えず見直しを行い、より良い寄り添いを求める職員集団として、

今後とも創立の精神に乗っ取って歩み続けたいと願っています。

制度的には、児童福祉の分野も地方主権の流れの中で、今後の動きに目が離せませんが、『鳥取子ども学園』の院長が、全国児童養護施設協議会の副会長として多くの方々と結束し、全国で格差のない児童福祉の守るべき最低限の制度確保に奔走してくださいました。なんとか必要最小限の制度確保は守られたようです。東北の惨事に皆が悲痛を感じるのは、自分達の暮らし様と違つからに他なりません。同じ日本の中の施設で暮らす子ども達のケアに格差が生じる事は許されません。

私達は、未来を担う子どもたちにとって、本当で大切なもの・守るべきものは何なのかを追求し続けたいと思います。流れや制度に流されるのではなく、どんな状況に置かれても東北の方々に負けないような不屈の精神で奮起してゆきたいと思っています。今後ともご理解・ご支援のほどよろしくお願い致します。



法人本部

常務理事 藤野興一 記

後援会への継続寄付(タイガーマスク)とお陰さまで前進した制度改革に感謝！

① 一昨年度、児童養護施設で一千万円、自立援助ホームで八百万円の赤字を出し、大変多くの方々からご心配いただき三千万円近いご寄付をいただいて乗り切るこ

とが出来、感謝を申し上げたところで

が、昨年度は児童養護施設を一ホーム減

らしたことによって赤字を出さなくて済

みましたが、自立援助ホームは依然とし

て七百万円の赤字決算となりました。

② しかし今年度から、タイガーマスク

運動に後押しされる形で、自立援助ホー

ムの現員払いが定員払いに戻されること

になり、今年度は赤字を出さずに済みそ

うです。また、児童養護施設や乳児院、

情短施設でも、一ホーム五百五十万円の

職員加配が十三ホーム全てに認められる

こととなる(今までは七ホームまで)大幅

な制度改革が実現し、少しは経営的な余

裕が持てるようになりました。感謝です。

二〇一一年度、「地域小規模児童養護

施設」開設による定員増と児童家庭支援

センターによる「里親支援機関連事業」の

受託を実現しました。ご支援ください！

③ 鳥取ごとも学園は、何時も空気が無

く、同一敷地内にある乳児院からも独自

に設けている一時保護ホームからも入所

できない状態が続いていました。

そこで今年度、国の制度にある「地域

小規模児童養護施設(定員六名)」開設に

よる定員四十五名から五十一名への定員

増を行いました。南吉方三丁目に大きな

一軒家を購入し、職員三・五人と子ども

六人で生活する「こどもの家いどり」

を創りました。

④ 施設的生活単位の小規模化と里親開

拓は社会的養護改革の要です。鳥取ごと

も学園は、一九六〇年から小舎制に踏み

切り、家庭養護促進協会の発足に当時の

指導員が関わるなど里親開拓の面でも先

駆的役割を果たしてきました。

新たに里親支援機関連事業の委託を受け

ることとしました。ご支援ください。

⑤ 鳥取みどり園乳児部の改修計画も内

外からご心配いただいているところですが、

昨年度中の設計等事業計画が間に合

わず、「改修計画推進プロジェクト」を

設置し、二〇一一年度補助金申請・二〇一

二年度改築完了を目指すこととしました。

⑥ 東日本大震災大津波・原発事故の最

中に乳児死体遺棄事件が当園の近くで発

生し近くの独身女性が逮捕されました。

社会的養護を担う私たちは益々身を引き

締めて社会的付託に心えたいと思います。

引き続きご支援をお願いします。

2010年度各施設の月別利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
養護施設	未成年	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 8 45	0 96 540
乳児院	0~1歳以上	7 15 8	6 14 8	6 14 8	6 14 8	4 13 9	4 13 9	5 14 9	5 14 9	5 14 9	5 14 9	5 14 9	5 14 9	63 167 104
情短施設	入所	24	23	24	24	25	25	27	27	26	27	27	27	306
	通所	9	8	9	9	10	10	10	10	10	10	10	10	115
	外来相談													
実人数：152人 延人数：292人														
児童家庭支援センター 実相談件数(来所407、電話156、訪問90)：653件 延相談件数(来所872、電話309、訪問180)：1,361件														
鳥取フレンド		5	5	5	5	4	5	5	5	4	4	4	7	58
倉吉スマイル		5	6	7	6	6	7	7	7	7	6	6	7	77
保育園		167	165	166	167	167	167	171	173	174	174	174	174	2,039
子育て支援センター	利用家庭数	206	200	206	223	172	191	167	164	127	60	99	133	1,948
	一日平均	11	11	8	10	7	9	7	8	6	3	5	6	91

本部会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	1,345,000	1,343,780	Δ 1,220
寄付金収入	14,430,000	14,847,288	417,288
雑 収 入	998,000	1,318,034	320,034
借入金収入	8,000,000	8,000,000	0
受取利息収入	3,000	1,950	Δ 1,050
前期末支払資金残高	3,123,000	2,426,088	Δ 696,912
合 計	27,899,000	27,937,140	38,140

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	1,015,000	1,015,200	200
事務費支出	5,240,000	5,277,399	37,399
元利償還金	13,773,000	13,773,227	227
繰入金支出	7,871,000	7,871,314	314
合 計	27,899,000	27,937,140	38,140

収入支出差引残金 ￥0

児童養護施設 鳥取こども学園

平成二十三年四月一日よりスタートした、地域小規模児童養護施設こどもの家「いろどり」です。定員六名（現在五名）、職員四名（内一人はパート）のグループホームです。

本園から離れて、小・中学校校区の地域の一軒家で生活しています。

本園と大きく違うことがあります。それは、いろどりで食材の買い物をして食事を作り食べることです。

一般家庭からすれば、何が違うの？と思われるでしょうが、食材を見て、子どもたちは興味津々です。「これ何？」「何を作る？」「これはまだ？」と口々に言います。スーパーで買い物して（一緒に行くことあり）台所で調理する姿を見て、おいを感じています。

自然と手伝いをする子どももいます。「いろどり」の名前の提案者は、ここの発達クリニックの院長・川口先生です。個性あふれる子どもたちの「いろ」を輝かせたいと思います。地域の皆さんをはじめ、よろしく願っています。



職員の自己紹介



主任保育士

前田 佳寿美

子どもも大人も笑顔で楽しいことがあり、「やったあ。」という喜びがあり、嫌な悲しいことが減っていく、いろどりでやりたいです。



保育士

中原 麻美

当たり前の生活を送ることの大切さ、難しさを感じながら、一日一日を大切にしています。子どもと共に温かい、いろどりを作っていききたいです。



保育士

田中 義久

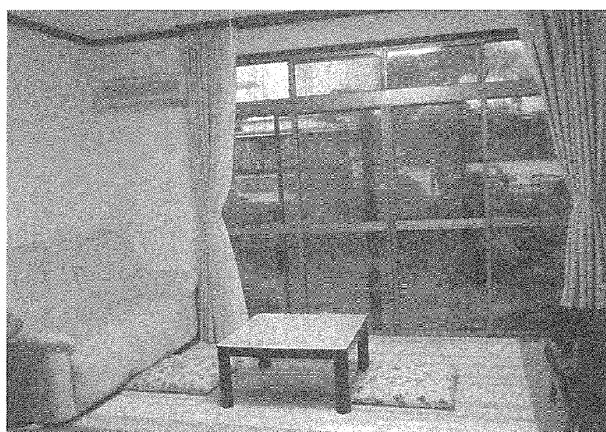
この度「いろどり」の一員となりました。学園内だけでなく、離れた場所にあるということ、より責任を感じています。子ども達が安心して「ただいま」を言える家。頑張ります。



パート

黒岩 節子

今年度から、パートとして「いろどり」で夕食の調理補助をしています。



児童養護施設「鳥取こども学園」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	154,004,000	154,939,381	935,381
補助金収入	12,360,000	12,359,842	△ 158
寄付金収入	319,000	199,000	△ 120,000
雑 収 入	4,040,000	3,839,062	△ 200,938
受取利息収入	3,000	2,817	△ 183
繰入金収入	724,000	723,780	△ 220
借入金収入	18,000,000	18,000,000	0
合 計	189,450,000	190,063,882	613,882

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	122,448,000	122,371,267	△ 76,733
事務費支出	6,723,000	8,179,512	1,456,512
事業費支出	38,961,000	38,538,181	△ 422,819
借入金利息支出	40,000	39,944	△ 56
固定資産取得支出	18,724,000	18,723,780	△ 220
合 計	186,896,000	187,852,684	956,684

収入支出差引残金の ￥2,211,198 - は次年度繰越

乳児院
鳥取こども学園乳児部

副院長 竹 本 智 恵

今年度より、私竹本智恵が副院長に就任いたしましたので、ご挨拶をさせていただきます。まだまだ未熟者ですが、子ども達の最善の利益と保護者の方々の信頼を得られる事を第一に、努めていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

当院は、今年で開設から五年目を迎えて、いよいよその真価が問われる時期になってきた事に、改めて重みを感じます。この間、私は家庭支援専門相談員として、多くの保護者の方々に出会ってきました。その中で、どの出会いも縁あつてのものだと思ひ、必然的なものを感じてきました。一人ひとりの方と丁寧に向き合い、共感し合い、寄り添い、少しでも安堵感を贈れる存在を心掛けてきました。振り返ると、保護者の方々と共にあつた四年間であつたと思ひます。多くの事を学び、共に苦しんだり笑ったり、出会いに感謝です。そして、今後より良い親子関係を支援していけたらと思ひます。

今年度も、子ども達一人ひとりが尊重され、しっかりと愛着が築かれる事を基本として、保護者の方々と信頼関係の構築、職員の質の向上を目指していきたいと思ひます。これからの一年も当院へのご理解とご支援をお願いいたします。

職員の自己紹介



フリー保育士
西 上 恵 理

今年度から乳児部のセラピストとして働かせていただく事になりました。今年度、鳥取に帰郷し、やっぱり鳥取はいいところだととても痛感しています。このような所で働く事ができて、とても幸せに思います。頑張っていきたいと思ひますので、よろしく願ひいたします。



フリー看護師
西 尾 裕 子

私の趣味は園芸です。花の種まきや苗を植える時は一声かけて頂ければ参加させて頂きたいと思ひます。植物は水や肥料を与えないと育ちませんが、逆に過剰に与え過ぎても上手に育ちません。子ども達とも程よい加減で関わっていけたらいいなあと思ひます。皆さんよろしく願ひいたします。



くまみ保育士
福 田 彩 子

一月から乳児部のくまみホームでお世話になっています。出勤すると走り寄ってきたり、顔を見ると笑ってくれたり、可愛い笑



フリー保育士
片 山 舞 子

顔に迎えられる毎日とても嬉しく思ひます。まだまだ未熟な保育士ですが、子ども達の笑顔と一緒に頑張っていきたいと思ひます。



くまみ保育士
國 本 美 沙 季

はじめまして！ この春から鳥取こども学園で働くことになりました。憧れの保育士になり、毎日笑顔を絶やさず子ども達と元氣いっぱい過ごしていきたいです。不安もありますが、皆さんにいろいろ教えて頂きながら精一杯頑張りますのでよろしく願ひいたします。



乳児院「鳥取こども学園乳児部」施設会計決算書

収 入 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	131,102,000	131,655,619	553,619
補助金収入	3,578,000	3,578,150	150
寄付金収入	26,000	36,000	10,000
雑 収 入	610,000	604,179	Δ 5,821
受取利息収入	4,000	3,881	Δ 119
合 計	135,320,000	135,877,829	557,829

支 出 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	109,988,000	109,889,619	Δ 98,381
事務費支出	4,679,000	4,630,659	Δ 48,341
事業費支出	10,302,000	10,316,084	14,084
積立預金積立支出	0	10,000,000	10,000,000
合 計	124,969,000	134,836,362	9,867,362

収入支出差引残金の ¥1,041,467 - は次年度繰越

情短施設

鳥取こども学園希望館

新年度がスタートし、希望館の子どもたちは、それぞれが気持ちも新たにホームでの生活・学校の生活に臨んでいます。希望館は五月一日現在、二十三名の子どもが入所し、七名の子どもが通所して生活を送っています。

中高生会の活動紹介

平成十九年から希望館児童の自治組織として「中高生会」が組織され、定期的な話し合いを基にさまざまな活動を行っています。

男子中高生会の現会長（高二）が活動紹介の記事を寄せてくれましたので、掲載します。

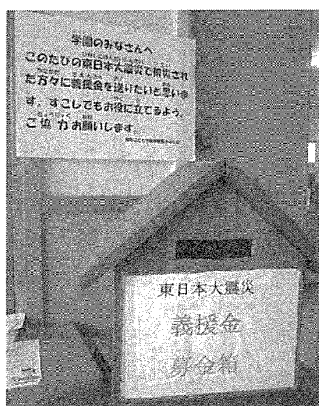
◆ 僕達男子中高生会は、月に一度希望館の男子ブロックの中高生が集まり、施設生活をしていて疑問に思ったことや不満なことについて話し合いを行います。話し合いは、子どもの権利ノートを基本にして僕達の権利が守られているのかが中心です。

例えば、「職員や大人の言い分は正しいが、全部が正しいとは思わない」「職員や大人の意見に上手く丸め込まれているんじゃないか」というような

思いを議題にし、話し合います。全ての意見が通るとは限りませんが、中高生会は一人一人の意見を大事にしているので、少数派の意見ももちろん大切にします。そうして全員が納得するまで議論を重ね、実際に生活しやすいようにルールを変えたこともあります。それが原因で、逆に過ちを言いたこともありました。しかし、皆で考え、またやり直していこうとしています。

現在、中高生会では東日本大震災義援金活動をしています。僕達にできることは本当にこれくらいしかないので、少しでも被災地の方々の役に立てるよう頑張りたいと思います。

◆ 彼らは、学園内だけではなく、来園者の方々に向けても義援金の協力を呼び掛けています。鳥取こども学園事務所玄関に募金箱が設置されていますので、趣旨に賛同されます方は御協力をお願いします。



職員の自己紹介

保育士

折本 大樹



今年度から鳥取こども学園希望館のきくホームで働くことになりました折本大樹です。

私は子どもに安心感を与えられる職員になりたいと思っています。たくさん迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いします。

セラピスト

遠藤 佳菜



四月から希望館でお世話になっていきます。まだ

まだ手探り状態ですが、出会いがけがえのないものであることを忘れずに、日々を過ごしたいと思っています。一歩ずつ成長していけるようにがんばります。よろしくお願いします。



児童指導員兼セラピスト
濱崎 康平

今年度より、希望館通所部門に児童指導員兼セラピストとして配属されました、濱崎康平と申します。早く希望館の一員として認められるよう頑張っていきたいと思います。よろしくお願いします。

情短施設「鳥取こども学園希望館」施設会計決算書

収入 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	159,206,000	159,004,162	△ 201,838
補助金収入	8,658,000	8,665,688	7,688
寄付金収入	230,000	0	△ 230,000
雑 収 入	1,747,000	1,789,316	42,316
受取利息収入	5,000	4,897	△ 103
施設整備寄付金収入	0	160,000	160,000
前期末支払資金残高	0	442,035	442,035
合 計	169,846,000	170,066,098	220,098

支出 (単位: 円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	132,134,000	132,058,661	△ 75,339
事務費支出	8,728,000	8,899,534	171,534
事業費支出	23,535,000	22,935,983	△ 599,017
固定資産取得支出	1,172,000	1,171,920	△ 80
積立預金積立支出	0	5,000,000	5,000,000
合 計	165,569,000	170,066,098	4,497,098

収入支出差引残金 ￥0

保育所
鳥取みどり園

一人ひとりを大切に

園長 山 本 恵 子

毎年この時期、園前の桜やメタセコイヤの木々はグリーンのトンネルと化し、四季折々に姿を変えながら、子どもたちを見守り、自然のすばらしさや豊かさを伝えていきます。

今年も世代交代により若い保育士が加わると共に、二十七名の新入児を迎え、かつ、六月に三名の途中入所児が加わり百七十四名となり、にぎやかなスタートをしております。

今年度も昨年度に引き続き、「遊びを豊かにする保育環境を考える」をテーマに、「ワクワク ドキドキ 笑顔がいっぱい」のスローガンのもとに、子どもたちの健やかな育ちを願って取り組みをしています。

人は一人では生きていきません。子ども時代には友達と一緒に遊びながら実体験を豊かにすることで、生きる力が身につく、お互いに尊重し助け合っていくことが、生きる力になるのではないのでしょうか。人の成長は、乳幼児期からの育ちの積み重ねの上に存在すると言われています。その大事な乳幼児期をお預かりしている私たちは、毎日の保育の中で一人ひとりの子どもを大切に、「自分が好き、友だちも好き、保育園が楽しいな」と思えるように、しっかりと向き合い、耳を傾けて、心の声を聴いていきたいと思

います。保育をとりまく状況は大変難しくなっておりますが、「子どもの最善の利益」を図って、職員が一丸となって頑張りますのでよろしく願います。

職員の自己紹介



保育士

安 藤 未 季

学園・なかよし園に一年半ちょっとお世話になりました。四月からはまた新しい所でのスタートですが、自分らしく、そして自分なりに明るく笑顔で頑張ります。

保育園での生活はまだ慣れないことばかりで、戸惑いや不安もありますが、かわい子どもたちに毎日癒され、元気をもらっています。

まずは、担当の子どもたちとその保護者の方との信頼関係をしっかりと築き、一緒に成長を見守って行けたらなと思います。

これからご迷惑をおかけすると思いますが、よろしく願います。



保育士

柏 木 麻 里

今年度から子育て支援センターの職員として勤務させていただきます。

新しい環境に胸を膨らませながらも緊張と不安でいっぱいだったのですが、先輩の先生方に丁寧なご指導をいただき多くの子どもたちやお母さん方とかわりながら、日々多くの学びや充実を感じています。



保育士

端 戸 良 子

四月より鳥取みどり園で働くことになり毎日、子どもたちのかわいい笑顔の中で楽しく過ごしています。今までは、西宮の保育園で働きまだまだ鳥取弁の保育には慣れませんが子どもたちと共に覚えていきそして今まで学んできたわらべうたや触れ合い遊びをたくさんしながら子どもたちとスキンシップをはかり楽しい保育にしていきたいと思います。



保育士

中 村 あ ず き

四月より、鳥取みどり園で勤務させていただきます。園で勤務させていただきます。中村あずきと申します。担当クラスは、乳児の1・2歳児混合クラスのたんぼ組です。社会人一年目で、至らない部分も多々あり、ご迷惑をおかけする事もあるかと思いますが、子どもたちの目線に立ち、一人ひとりの心に寄り添った保育をしていく事、また、保護者の方や地域の方々との関わりや連携を大切にしていける事を目標に、これから精一杯がんばりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



保育所「鳥取みどり園」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	128,339,000	128,332,110	Δ 6,890
補助金収入	11,492,000	13,940,442	2,448,442
子育て支援センター委託事業収入	7,413,000	7,413,000	0
利用者負担金収入	555,000	626,300	71,300
雑 収 入	91,000	110,020	19,020
受取利息収入	5,000	5,024	24
積立金取崩収入	322,000	0	Δ 322,000
合 計	148,217,000	150,426,896	2,209,896

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	127,198,000	127,467,819	Δ 269,819
事務費支出	4,362,000	4,397,527	Δ 35,527
事業費支出	16,427,000	16,918,746	Δ 491,746
固定資産取得支出	230,000	230,000	0
積立預金積立支出			
予 備 費			
合 計	148,217,000	149,014,092	Δ 797,092

収入支出差引残金の ¥1,412,804 - は次年度繰越

診療所

「こころの発達クリニック」

外来診療を通して
思うこと

精神科医 池 成 幸 昭

「こころの発達クリニック」が開設して一年経ちました。私は現在非常勤医師として週三回、「こころの発達クリニック」の外来診療をお手伝いさせていただいております。

おかげさまで一年間、様々な方がたくさん来院されています。また、初診の方には予約の時点からしばらく日数のかかる状態が続いており、大変ご迷惑をおかけしております。不慣れなことが多く、いつも川口院長をはじめ、事務の上田さんや、看護師の岡田さんに助けていただいております。

最近思うことを述べてみたいと思います。

私たちはなぜ病院へ行くのでしょうか？その目的は病気を治すためです。

たとえば熱が下がらない、痛みがある、怪我をしてしまった、など「今起きている不具合」があるとき、そしてその原因が「病気」であると判断したとき、私た

ちは病院へ行き、医師の診察を受け、そして治療を受けます。病気を治すために病院へ行くわけです。

これは「こころの病気」を診る精神科でも同じことです。あたまた「こころの」と付いてはいますが、今起きている不具合が「病気」の状態であるから、「こころ」の「病気」を治すために精神科の診察を受けるわけです。

「こころの領域に関連しても「眠れない」とか「〇〇ができない」等のように、当人が「こころの病気」と思ふ症状があり、その結果、診察や治療を受けようと考え、病気を治すために病院へ行き、診察を受けます。

病気と診断をされると（時には診断されなくても）つぎは治療について考えることになります。

治療について考えるときは、医療者だけでなく、受診した御本人にも（当然ですが）一緒に考えていただかなければなりません。一緒に考える、ということは「一緒に治療する」ということにつながります。

こころの病気の場合に限らず、治療を続けることは、簡単なことではありません。時には病気が同じくらい、あるいはそれ以上の苦しみが伴うこともあります。はじめは治療を考えて病院を受診した

ものの、治療をしないほうが苦しくならない、とか、治療は必要ない、とご本人やご家族が思われることも有り得ます。私たちが「一緒に治療する」仲間として、ご本人やご家族に受け入れて頂けるよう、これからも研鑽を積み続けたいと思います。



<診療時間>

月・火・金・土	9:00~12:00 14:00~18:00
水	14:00~17:00 18:00~21:00
木	9:00~12:00

<休 診>

第1,3,5土曜

日曜 祝日 木曜午後

年末年始（12/29~1/3）

診療所「こころの発達クリニック」施設会計決算書

収 入

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
医業収益	27,986,000	28,148,144	162,144
資本的収入	0	0	0
医業外収益	15,001,000	15,001,331	331
合 計	42,987,000	43,149,475	162,475

支 出

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
医業費用	34,261,000	34,112,845	Δ 148,155
資本的支出	1,593,000	1,592,850	Δ 150
医業外費用	1,518,000	1,518,000	0
合 計	37,372,000	37,223,695	Δ 148,305

収入支出差引残金の ¥5,925,780 - は次年度繰越

児童家庭支援センター

子ども家庭センター「希望館」

職員の自己紹介



セラピスト

山 田 香 子

山田香子です。

四月より、新しく支援センターに着任しました。

これまで月に数回ではありますが、子育てについての相談に対応させていただく仕事に携わっていました。その時の相談は、長くても三十分ぐらいで、その場の相談で終わるものがほとんどでした。センターの業務は、電話での相談が中心となり、顔が見えない相手の不安な気持ちや悩みに、どのように対応させていたただけるかが、課題となると思われます。また、子ども家庭支援センターの職員として、相談を受けるだけでなく、他の部署や機関との連携を考えながら、相談者のニーズに対応していきたいと思っています。センターでの業務として、施設内の子どもたちと関わることは少ないかもしれませんが、学園の行事に出来るだけ参加して、関わらせていただきたいと思います。皆さんの力をお借りすることも、たくさんあると思いますが、誠心誠意をもって

取り組みたいです。どうぞ宜しくお願いします。

◆来所相談 平日 AM9時～PM6時
(祝・祭日を除く)

◆電話相談 24時間対応

(TEL 0857-2714153)

※夜間 (AM0時～AM9時)・土日は緊急相談のみ

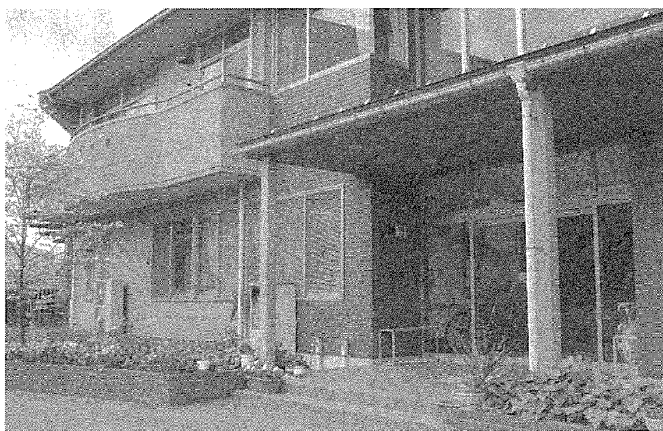
子ども家庭支援センターの所長が田村

勲から藤野興一に変わりました。

より一層他機関と連携し地域の悩みに

耳を傾けていけたらと思っています。

※相談件数の表添付



子ども家庭センター「希望館」施設会計決算書

収 入

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
補助金収入	12,695,000	12,695,000	0
繰入金収入	147,000	147,534	534
合 計	12,842,000	12,842,534	534

支 出

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	10,812,000	10,823,213	11,213
事務費支出	2,030,000	2,019,321	Δ 10,679
合 計	12,842,000	12,842,534	534

収入支出差引残金 ￥0

里親支援つとむ

この春より、県からの業務委託を受け、里親や里親になりたい方のために様々なお手伝いをする機関「里親支援つとむ」がスタートしました。

主な業務は次の通りです。

① 里親委託促進：児童養護施設や児童相談所などと協同して、里親委託の促進を図ります。

② 養育・専門里親研修：里親になることを希望される方、既に里親である方のための研修を行います。

③ 普及啓発：里親制度普及のためのパンフレットの作成・配布や、その他の広報を行います。

④ 里親相互交流：里親同士が悩みや不安などを気軽に話しあうことができる機会を設けます。

⑤ 鳥取県里親会事務局：里親同士の親睦を深めるための会「鳥取県里親会」の事務局業務を行います。

それぞれの業務は、各里親さん個人、里親会、県の業務担当員、各地区児童相談所、各児童福祉施設等と連絡調整・協同して行います。

自立援助ホーム

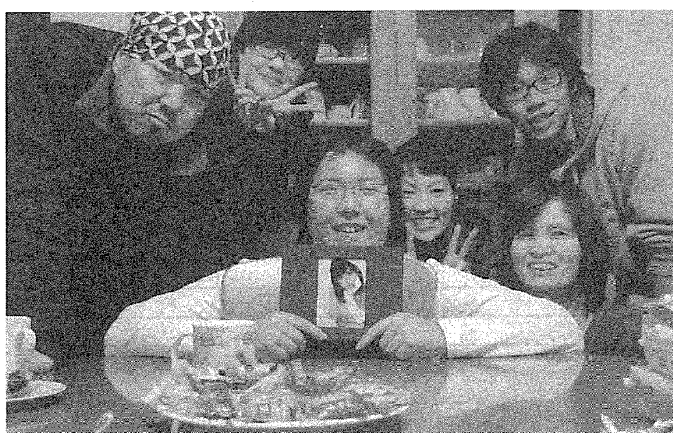
鳥取フレンド

寮長 山中友子

現在、鳥取フレンドで生活しているのは、男子四名、女子二名の六名です。うち一名は五月より私的契約扱いです。それぞれの経緯がありこころを辿り着いていて、個々の事情を考えすぎ、要求に応じると、ホーム内では不公平感が募ります。しかし、それぞれの状況に必要な支援があると考えているので、日々折り合いをつけながら生活しています。

制度上では、関係者の方々の働き掛けのお蔭で、今年度より定員扱いとなり、昨年度までの運営の不安定さはなくなりました。設立当初からのことを考えるととても画期的なこと、感慨深く、そして有難く感じています。そして、改めて子どもたちの「自立支援」ということについてどうすることが支援なのか、私たちに何ができるのかをスタッフ、関係者で話し合い、日々の生活に向かいたいと思っています。

正規雇用として仕事に就くことが難しい現状で、人として、社会人として生きていくのは、とても厳しく、折れてしまいがちですが、互いにたくましさをもって生きていけたら…と思います。



職員の自己紹介

伊谷 進之助



青少年たちが自立へ向けての懸命な取り組みをしている姿勢をできるかぎりの力でサポートしていきたいという心構えです。こともたちとにぎやかに楽しく、時にはじっくりと向き合って、こどもたちそれぞれの成長を見守っていきたくて望んでいます。

自立援助ホーム「鳥取フレンド」施設会計決算書

収 入 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	13,764,000	13,542,506	Δ 221,494
補助金収入	632,000	930,000	298,000
寄付金収入	90,000	120,000	30,000
利用料収入	895,000	1,022,000	127,000
雑 収 入	1,187,000	1,188,818	1,818
受取利息収入	1,000	527	Δ 473
繰入金収入	1,000,000	1,000,000	0
積立預金取崩収入	213,000	213,000	0
前期未支払資金残高	357,000	503,496	146,496
合 計	18,139,000	18,520,347	381,347

支 出 (単位:円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	14,229,000	14,220,813	Δ 8,187
事務費支出	1,958,000	1,969,132	11,132
事業費支出	1,952,000	2,330,402	378,402
合 計	18,139,000	18,520,347	381,347

収入支出差引残金 ￥0

自立援助ホーム

倉吉スマイル

寮長 田村 崇

倉吉スマイルは、今年で七年目に突入です。これまで様々な出会いがありました。みんながそれぞれ問題や課題にぶつかって、それらを乗り越えながらやがて、巣立っていきます。しかし、退寮したから終わりではなく、まさにそこが彼ら彼女らの本当の勝負が始まります。一人で暮らしていく事に慣れていない彼らの大きな壁は、さみしさの克服ではないかと思っています。我々は、今ここの生活が将来役に立てるような事を一緒に体験していけるよう、心がけなければならぬ。彼ら彼女らが困った時、さみしいなって感じた時に、気軽に連絡が取れる関係を築いておかなければならないと感じています。またそれは子ども達とスタッフ間のことでなく、子どもたち同士はもちろん、地域の方々、訪問してくれたOBやOGなど、ここで出会った縁を大切にしていきたいと思っています。笑顔をたやさず！をモットーに今年度も日々の生活を大切に送っていききたいと思っています。今後とも暖かくお見守りください。

ださい。よろしくお願い致します。

西 村 義 裕

私がスマイルに来てから早いもので五年が経ちました。まだ五年ですが、様々な経験をさせていただきました。最近になり、身近にOBがいるという環境ができ、アフターケアをどうしていくかが今後の課題となっていくと感じています。スマイルを出て一人で生活していく上で、私にしか出来ない支援とは何か、を見付けて行こうと思います。研修等でよく五年目は節目の年だと言われますが、これから更なる向上心を持って生活していきたいと思っています。

松 本 育 世

倉吉スマイルにお世話になるようになって早三年目を迎えることができました。三年前は男の子ばかりの寮でしたが、今年から女の子二人入寮しにぎやかになりました。細かなところでは食生活のちがひも感じており（が）つつりから野菜等おおくなったり、また昨年度は研修等食生活について考えることも多々ありました。美味しい気持ちでいただけるよう、そしてスマイルを忘れずに日々を過ごしていきたいと思っています。

自立援助ホーム「倉吉スマイル」施設会計決算書

収 入 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
措置費収入	12,171,000	12,108,904	Δ 62,096
補助金収入	135,000	136,000	1,000
寄付金収入	246,000	245,753	Δ 247
利用料収入	310,000	330,000	20,000
雑 収 入	21,000	21,000	0
受取利息収入	1,000	475	Δ 525
繰入金収入	6,000,000	6,000,000	0
積立預金取崩収入	417,000	417,000	0
前期末支払資金残高	87,000	224,642	137,642
合 計	19,388,000	19,483,774	95,774

支 出 (単位：円)			
科 目	予算額	決算額	比較増減(Δ)額
人件費支出	15,656,000	15,656,718	718
事務費支出	1,474,000	1,504,618	30,618
事業費支出	2,258,000	2,322,438	64,438
合 計	19,388,000	19,483,774	95,774

収入支出差引残金 ￥0

地域若者サポートステーション事業
とっとり若者
サポートステーション

新しい年度が始まりましたが、依然として、若者を取り巻く環境や雇用状況は厳しく、その影響から若者が抱える悩みが複雑なものになり、春先からスタッフ一同、自らの無力さと葛藤をしているところです。

昨年度、約二百名（来所延べ数約二千五百名）が利用されましたが、その中には人間関係で悩み、人との関係を回避しがちになっている人も少なくありません。ともすれば「人に興味がない」「やる気がない」と世間から見られてしまうかもしれません。しかし、そうではないということを考えさせられることができがありました。グループワークでフリーストックを実施したことです。震災の後で、自然とその話題になったのですが、それぞれが心を痛め、被災された方の気持ちを考える姿が見られました。表面的には確かに回避的ではあるかもしれませんが、実際は人に対して関心もあるし、何かできないかとも考えているのです。ただ、実行に移す一歩が踏み出せない、そういった機会がないといった状況が当所を利用される方の姿であり、広く言え

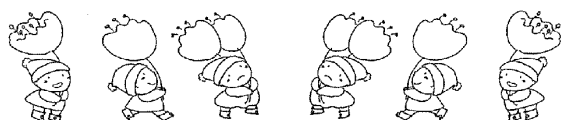
とっとり若者サポートステーション決算書

※精算報告額

(単位：円)

科 目	収入・支出額	備 考
厚生労働省委託費	18,773,956	体制費、活動事務費
鳥 取 県 委 託 費	6,579,878	体制費、活動事務費、事業経費

ば、最近の若者の姿ではないでしょうか。今年度はそういった方に対して、新しい一歩が踏み出せる機会や場所を多く作るために外部機関とのつなぎ役として精神保健福祉士を配置しました。新しい職員を配置したことで向上的な支援ができるよう努めて参りたいと思います。



職員の自己紹介

精神保健福祉士

西村 悠



鳥取こども学園で三年半、希望館で一年、と勤務させて頂き、このたび、とつとり若者サポートステーションへ勤務をする事となりました。

これまで、子ども達、職員の方々より、様々なことを学ばせて頂き、これからは、これまでの経験やご指導頂いたことを活かしながら一層の努力をしてまいりたいと考えております。

勤務に就き一カ月が経過し、戸惑う事も多々ありますが、利用者の方の思いや現状を知る中で、精神保健福祉士として自分に何が出来たのかを考えさせられる毎日を送っております。働くという事が求められる社会で、働かなければという焦りと、うまくいかない事での自信喪失。人とうまく関係を築きたいという思いが強いからこそ、人との関わりに自信が持てず前へ進むのを躊躇してしまふ。そういった方々の思いに、共に寄り添いながら支援していければと考えております。



退所児童等アフターケア事業

ひだまり

理事長 中嶋 進 一

ひだまりの開所から二年間、鳥取市立川町で多くの方々のご支援を頂き施設のOB、OGたちと、この事業を進めてきました。が、昨年度末に補助金により建物を購入し、一般社団法人の認可を受けて理事長に就任しました。

今年度、四月より新しく購入した鳥取市吉万温泉町に事務所を移し、活動しています。慌ただしく購入、改装、引っ越しと新事務所の整備に負われ、開所式も遅れていますが、近々ご案内したいと考えています。今後も心あるアフターケアに務めていくつもりです。また、今年度から昨年までサポステにキャリアカウンセラーとして勤務していた山中氏をひだまり職員として迎え、幅広い支援事業として利用者の方々の相談に応じる決意です。

一方、自助グループ（レインボーズ）支援にも積極的に取り組んでおり、昨年は、池田会長を中心に全国組織「こどもつと」への参加、協力を通してネットワークの輪を拡げています。これからも、共に歩み、悩み、共に楽しむ場として明る

く開けたグループ活動を目指して協力していきます。

私の好きな言葉に「思いやり」という言葉があります。私は、思いやりとは、他人のために何かしてあげようとか、単に人に世話をすることだとは考えていません。相手のことをしっかりと尊重する事。相手の気持ちを理解した上で、より良い解決策と一緒に考える。そのような本当の思いやりを持って、これからのひだまりをやって行こうと考えています。



浩の会

「浩の会」の皆様には、毎年、春には田植え、夏には地引網、秋には稲刈りなど、沢山の行事を開催して頂いてます。

今年の地引網では、厳しい暑さと炎天下の下、「浩の会」の皆さんと一緒に子ども達が網を引き、沢山の魚を捕りました。

お昼には、準備をして下さったバーベキューをし、捕った魚を食べ、美味しいご飯を「浩の会」の皆様と交流しながら楽しく頂きました。

普段の生活では体験することのない行事だけに、毎年「浩の会」の行事を子ども達は楽しみにしています。

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、
下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2010.11～2011.5)

敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
小林 陽 祐	(株) 三 栄	岩倉地区民生児童委員協議会	(社福) あ け の 星 会
小 原 知 子	(株) さんれいフーズ	岩 下 香 代 子	3 H の 会
近 藤 明	(株) 新 潮 社	岩 田 美 代 子	愛 真 幼 稚 園
才 木 寿 朗	(株) プレマスペース	岩 本 常 正	あ い ホ ー ム 工 房
斎 藤 禎 一	(株) ホンダカーズ石見	上 岡 啓 吉	相 崎 伸 子
齋 藤 基・春 代	(株) ミ ヤ 企 画	上 田 照 彦	赤 山 善 男
(株)鳥取県労働者福祉協議会	(株)モリコー鳥取営業所一同	上 村 優 子	秋 崎 る り 子
坂 根 千 里	(株) ヤ マ ネ 機 材	白 井 道 子	朝 倉 通 憲
酒 巻 佐 代 子	亀 谷 政 司	梅 澤 潤 一	浅 田 悦 子
茶道裏千家淡友会鳥取支部	川 上 広 枝	江 谷 孝 明	明 星 好 弘
茶道裏千家淡友会鳥取支部 因幡風紋青年部	川 口 明 子	奥 羽 徳 行	雨 河 一 就
(株)山陰予防医学研究所	河 口 欣 微 子	大 谷 恭 一	安 藤 繁 子
サンライズ工業(株)	川 口 孝 一	大 平 千 恵 子	安 藤 信 英
慈 眼 寺	河 本 充 弘	大 呂 隆 則	勢 木 宇 太 郎
下 石 洋 子	岸 本 正 枝	岡 田 栄	生 田 百 合 子
柴 田 隆 嗣	岸 律 子	岡 田 武	井 上 康 夫
柴 田 直 樹・和 仁	北 中 洋 子	岡 村 進・衣 織	井 口 壬 生
島 崎 美 智 子	北 村 恵 美	岡 本 昌 治	池 田 晴 隆
清 水 雅 彦	キままッズC L U B	沖 正・かね子	石 川 省 三
清 水 守	木 村 武 生	奥 田 美 由 紀	石 谷 一 宇
新 矢 植 夫	木 村 信 行	尾 崎 呉 服 店	いしど歯科クリニック
杉 村 英 子	木 村 肇	尾 崎 三 智 子	石 原 丈 径
杉 森 忠 篤	栗 本 悦 子	尾 崎 美 幸	泉 谷 英 明
すしの江戸吉	コ ー ル お も か げ	柏 女 霊 峰	伊 谷 周 一
鈴 木 和 子	国際ソロプチミスト鳥取	勝 原 俊 恵	市 川 元 子
鈴 木 洋 平	小 竹 多 喜 雄	加 藤 和 徳	井 上 耕 介
砂 川 晋 治・真 理	小 竹 原 寛	金 子 り つ 子	井 上 早 苗
スリーバー鳥取店	小 谷 護	金 田 和 子	井上 仁・恭子・哲也
大同端子製造(株)	小 長 井 賀 興	叶 原 土 筆	井 上 裕 子
ダイヤモンド電機(株) 厚生委員会	小 橋 房 子	(株)おさき住環境設備	入 江 一 枝

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
村 尾 栄 子	福 寿 み ど り	鳥取ライオンズクラブ	高島地区民生委員協議会
村 上 潤	福 田 眞 弓	富 山 佳 代	高 瀬 海 二
村 中 英 夫	福 永 裕 子	鳥 山 玲 子	高 橋 伊 佐 夫
盛 本 裕 子	藤 井 重 明	中 井 修	高 橋 昌 文
森 澤 直 義	富 士 一 郎	中 川 正 道	竹 下 努
盛 田 和 子	藤 井 喜 臣	中 川 康 恵	竹 本 敦 子
矢 久 間 一 子	藤 野 興 一 ・ 洋 子	中 嶋 浩 治	竹 森 香 理
山 川 友 子	藤 本 奎 吾	中村歯科医院 中村忠文	伊 達 直 人
山 口 登 貴 子	藤 原 雅 夫	中 村 博	田 中 和 子
山 下 弘 実	船 山 章	名 村 康 恵	田 中 佳 代 子
山 白 史 子	古 田 操 子	西 村 照 子	田 中 儀 衛
山 田 忠 義	ホ ッ ト ほ っ と ク ラ ブ	日本キリスト教団上井教会	田 中 耕 自
山 根 章 明	ホ テ ル モ ナ ー ク 鳥 取	日本基督教団鳥取教会	谷 尾 裕
山 根 茂	堀 内 苑 生	日本基督教団用瀬教会	谷 垣 由 紀 恵
山 根 浩 子	堀 内 正 人	日本郵政グループ労働組合 鳥 取 伯 耆 支 部	タニグチ・ヘアサロン 谷 口 義 明
山 本 静 彦	堀 二 夫	庭 崎 恵	谷 口 繁
由 井 美 知 子	前田医院 前田宏治	望 月 彰	田 村 明 子
㈹イナバ葬祭センター	前 田 和 子	葉 狩 理 子	田 村 明 長
㈹岸田ガラス店	前 田 崇 明	橋 詰 隼 人 ・ 一 枝	田 村 崇
ユ タ カ 自 動 車 ㈹	前 田 豊	橋本外科医院 橋本英宣	田 山 喜 久 雄
吉 田 由 喜 江	巻 田 豊	長 谷 賢 二	中国税理士会鳥取支部
四 ッ 葉 会	松 永 隆 夫	畑 山 博 史	土 江 浜 代
米 子 教 会	松 永 知 恵 子	花 木 正 史	寺 谷 さ く ら
米谷食品センター	松 永 陽 明	浜 口 三 奈	天 徳 寺
米本内科 米本哲人	松 原 千 恵 子	浜 田 素 子	トットリ・アフトピア協会
ラスベガス 郡家店	松 村 栄 子	濱 本 英 機	鳥 取 教 会 シ オ ン 会
ラスベガス 智頭店	松 本 勲	林 敬 二 郎	鳥取県教職員組合東部支部
口 ー マ 鳥取店	松 本 拓 也	林 義 雄	鳥取更生保護女性会
和歌山県児童福祉施設 和 連 絡 協 議 会	松 本 紀 子	パ ル ス 電 工 ㈹	鳥取こども学園支援バザー 川 口 映 子
杵 島 和 江	ま る な 亭	束 原 克 美	鳥 取 商 事 ㈹
渡 辺 隆 夫	丸 山 順 子	東 原 有 加	鳥取少年鑑別所有志一同
渡 邊 哲 次	三木眼科 三木統夫	百 村 佐 智	鳥取市立城北小学校PTA
無 名 氏	三 木 康 二	広 谷 笑 子	鳥 取 白 バ ラ 乳 販 ㈹
	水本クリニック 水本清	広 徳 寺 大 乗 写 経 会 日 曜 坐 禅 会	鳥 取 新 生 教 会
	水 谷 昭 二	福 士 久 美 子	鳥 取 友 の 会
	三 田 三 香 子	福 島 庸 二	鳥 取 み ど り 園

物 品 寄 付 者 (2010.11~2011.5)

敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
㈸竹中工務店 鳥取営業所	奥 井 陽 子	立川町五丁目2区町内会	野 倉 恵
㈸ ユ ニ ク ロ	奥 田	伊 達 直 人	ば に 一 に
7's GATE UFO興南	勝 部 美 沙	谷 口 秀 雄	浜 口 三 奈
NPO法人えんば 福田誠治	加 藤 美 津 子	近 澤 貴 美 子	バ ン ド ラ の 箱
U F O 秋 里 店	川 尻 礼 子	地方紙正月連合企画係 満居優	日 立 金 属 労 働 組 合
U F O 扇 町 店	ガ ン	中国アイスクリーム協会	フィリップモリスジャパン㈸
U F O 安 長 店	倉 元 麻 美 子	綱 本 直	福祉を守るみどりの会
浅 井 慶 紀	黒 川 和 子	徳 田 商 店 ㈸	福 田 恭 子
飯 田 伊 知 郎	小 林 本 亨	鳥取敬愛高等学校家庭科クラブ	三井住友海上火災保険㈸
碓 シ ン ジ	坂 本	鳥取県中小企業団体中央会	村 上 和 良
一般社団法人みもぎの会	山陰中央新報社鳥取営業所	鳥取市ゲゲゲのおやじ	百 村 眼 科
い な ば の 白 兎	サ ン ク リ ー ン	鳥取市立修立小学校	明治安田生命因幡東営業所
井 上 耕 介	資生堂社会福祉事業財団	鳥取市立宮ノ下小学校5年生	明治安田生命鳥取中央営業所
井 上 喜 子	修立地区老人クラブ連合会	鳥取西ロータリークラブ	安 福 せ と
猪 口 吉 野	城下町とっとり交流館 高砂屋	鳥 取 廣 信 青 果	山 上
岩 淵 明 美	菫 蒲 み さ を	中 川 み か	れ と る 三 芳 順 子
上田包装企業㈸ 鳥取支店	全国シャンメリー共同組合	南 條 芳 浩 子	無 名 氏
え が お ㈸	大 樹 寺	西 垣 恭 子	
太 田 寿 昭	高 橋 弘 子	日 本 鏡 餅 組 合	

平成22年度 鳥取こども学園後援会収支決算書

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

(収 入)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
後 援 会 費	578,000	512,000	66,000	80件 (前年度57件)
貸 付 金 返 済	325,000	75,000	250,000	ひだまりより
雑 収 入	282	643	△ 361	預金利息
前 期 繰 越 金	897,462	2,128,509	△ 1,231,047	21年度より
合 計	1,800,744	2,716,152	△ 915,408	

(支 出)

科 目	当 年 度	前 年 度	比較増減(△)額	摘 要
本部会計へ寄付	0	1,000,000	△ 1,000,000	
手 数 料	38,675	56,690	△ 18,015	郵便局振込手数料
部 活 支 援	19,100	12,000	7,100	遠征旅費
貸 付 金	0	720,000	△ 720,000	
雑 費	0	30,000	△ 30,000	
合 計	57,775	1,818,690	△ 1,760,915	

収入支出差引残金の ¥1,742,969 - は次年度へ繰越

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812
鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発刊しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことですので、ご理解いただきますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。